

ビルクリーニング 競技課題

禁止事項

1. 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
2. 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
3. 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません。
4. 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
5. その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

[共通]

1. 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。又、競技は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」の順番で行います。課題1と課題2の間には休憩時間を設けます。
2. どちらの課題も、作業面積は、16m²(4m×4m)とし、幅木による区画とし、幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
3. 作業場所にある机は、移動させないでください。
4. 2課題とも次の規定時間が定められています。
① 課題1 7分 で打ち切り ② 課題2 10分 で打ち切り
尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。
① 課題1 2分 ② 課題2 3分
又、規定時間を越えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。
5. 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行いません。競技者は、拳手または「はじめます」と申告して、2(A・B)コート同時にスタートしてください。競技が終了したら拳手または「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの入退出を行なう際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、拳手のみで構いません。
6. 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
7. 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、2コートの両名が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した競技者は、スタートラインに戻り、もう一方の競技者が終了するまで、そのまま待機してください。
8. 両競技で使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
9. 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。
10. 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、減点方式により行います。
11. 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

【課題1：カーペット床清掃】

1. 床の材質は、繊維系の床面とします。
2. 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
3. 床のゴミは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50mℓ程度をまいたものとします。

【課題2：弾性床清掃及び机上清掃】

1. 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
2. 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
3. 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
5. 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
6. クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
7. 床のゴミは、「おがくず」とし、50mℓ程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2型	1台
機	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラグ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30 cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63 cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
機	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

2. 選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着 (上・下)		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足

* 持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題1 カーペット床清掃（作業時間：7分）

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 作業標示板は既に所定の位置に立ててある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照すること。 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で、所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	<ol style="list-style-type: none"> 真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 室内での作業手順は、カーペット床作業手順のとおり行う。 ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。 前進しながら除塵する。 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> 入口のごみを踏まないように広めに足場を確保する。 吸込口を床に強く押しつけない。 イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 掃除機本体は、手で持って移動する。 プラグを持って抜く。 	<p>ゴミは、シュレッダーで裁断したものを 50ml 程度均等にまいてある。</p> <p>掃除機のコードを持って抜かない。</p>

<small>きぎょうこうてい</small> 作業工程	<small>きぎょうほうほう</small> 作業方法	<small>ほそくじこう</small> 補足事項	<small>びこう</small> 備考
<small>てんけん</small> 点検	<small>ゆびさ また もくしてんけん おこな</small> 指差し又は目視点検を行う。	<small>しきざい わす と</small> 資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検する。	<small>こゑ</small> 声をださないこと。
<small>たいしつ あいさつ</small> 退室の挨拶	<small>でぐち しつない せ たいしつ あいさつ おこな</small> 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	<small>しつれい とう いちれい たいしつ</small> 「失礼しました」等と一礼して退室する。	
<small>しきざい かたづ</small> 資機材の片付け	<small>しんくう そうじき ま しんくう そうじき ぼかんばしょ ちど</small> 真空掃除機のコードを巻き、真空掃除機を保管場所に戻す。		
<small>しゅうりょう あいさつ</small> 終了の挨拶	<small>しよてい いち た しゅうりょう あいさつ おこな</small> 所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	<small>お とう い しひょうじ おこな</small> 「終わりました」等の意思表示を行う。	<small>きぎょうしゅうりょう しんこく</small> 作業終了を申告する。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ① ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ② ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	作業用カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。		
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミの回収 (3) ゴミ袋のセット	<ol style="list-style-type: none"> 作業前にイスを机上に上げる。 ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ゴミ箱を机上に上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 机は動かさない。 イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ビニール袋を正しくセットする。 ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。 	

<small>さぎょうこうてい</small> 作業工程	<small>さぎょうほうほう</small> 作業方法	<small>ほそくじこう</small> 補足事項	<small>びこう</small> 備考
<small>じよしんさぎょう</small> 除塵作業 <small>かんしき</small> (乾式モップ)	① ダスタークロス <small>そうちやく</small> を装着した乾式モップ <small>かんしき</small> ヘッドは入口 <small>いりぐち</small> の養生マット <small>ようじょう</small> の上でモップ <small>うえ</small> の柄 <small>え</small> に取り付ける。 ② 乾式モップ <small>かんしき</small> で、外 <small>と</small> から入口 <small>いりぐち</small> を除塵 <small>じよじん</small> し、入室 <small>にゅうしつ</small> する。 ③ 室内 <small>しつない</small> での作業手順 <small>さぎょうてしゅん</small> は、乾式モップ作業手順 <small>かんしき</small> の通り <small>おこな</small> 行う。 ④ ゴミは前進 <small>ぜんしん</small> しながら出口 <small>でぐち</small> に向かって1箇所 <small>かしょ</small> に集める。 ⑤ ヘッドを柄 <small>え</small> から外 <small>はず</small> す。 ⑥ 使用済み <small>しようま</small> のダスタークロス <small>かんしき</small> をヘッドから外 <small>はず</small> し、カート <small>ふくろ</small> の袋 <small>なか</small> の中に収納 <small>しゅうのう</small> する。 ⑦ 柄 <small>え</small> とヘッドをカート <small>もど</small> に戻す。 ⑧ 小型ぼうき <small>こがた</small> と文化ちりとり <small>ぶんか</small> を使用 <small>しよう</small> し、集めたゴミ <small>あつ</small> を回収 <small>かいしゅう</small> する。 ⑨ ゴミの取り残 <small>と</small> しが無い <small>のこ</small> か点検 <small>てんけん</small> する。 ⑩ 小型ぼうき <small>こがた</small> 、文化ちりとり <small>ぶんか</small> をカート <small>もど</small> に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柄<small>え</small>の先端<small>せんたん</small>には親指<small>おやゆび</small>を添える。 ・ ヘッドの辺<small>へん</small>は広い<small>ひろ</small>方を先行<small>ほう</small>させる。 ・ 入口<small>いりぐち</small>のゴミを踏<small>ふ</small>まないように足場<small>あしば</small>を確保<small>かくほ</small>する。 ・ ヘッドは、床<small>ゆか</small>から離<small>はな</small>さない。 ・ 使用済み<small>しようま</small>ダスタークロスはカート<small>ふくろ</small>の袋<small>なか</small>の中<small>い</small>に入れる。 ・ ごみ<small>と</small>の取り残<small>のこ</small>しがあある場合<small>ばあい</small>は、小型<small>こがた</small>ぼうきと文化ちりとり<small>ぶんか</small>を使用<small>しよう</small>し回収<small>かいしゅう</small>する。 ・ ヘッドは、カート<small>しようふ</small>上部<small>めん</small>に、スポンジ面<small>めん</small>を上<small>うえ</small>にして、邪魔<small>じゃま</small>にならないように置<small>お</small>く。 	ごみは、おがくずを50mℓ程度均等 <small>ていときんとう</small> にまいてある。 点検 <small>てんけん</small> の際 <small>さい</small> に声 <small>こゑ</small> をださないこと。

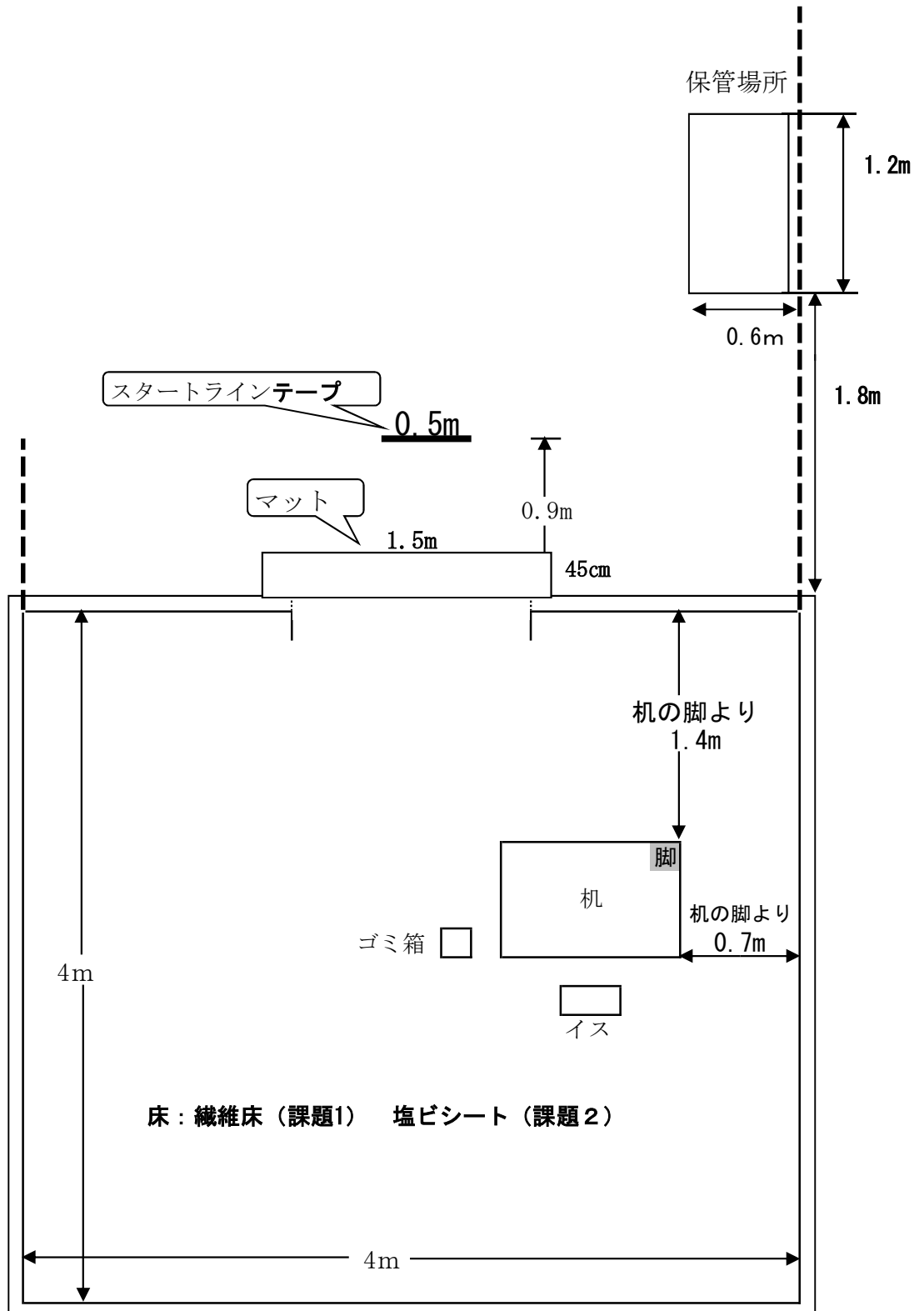
課題2

作業仕様1-2

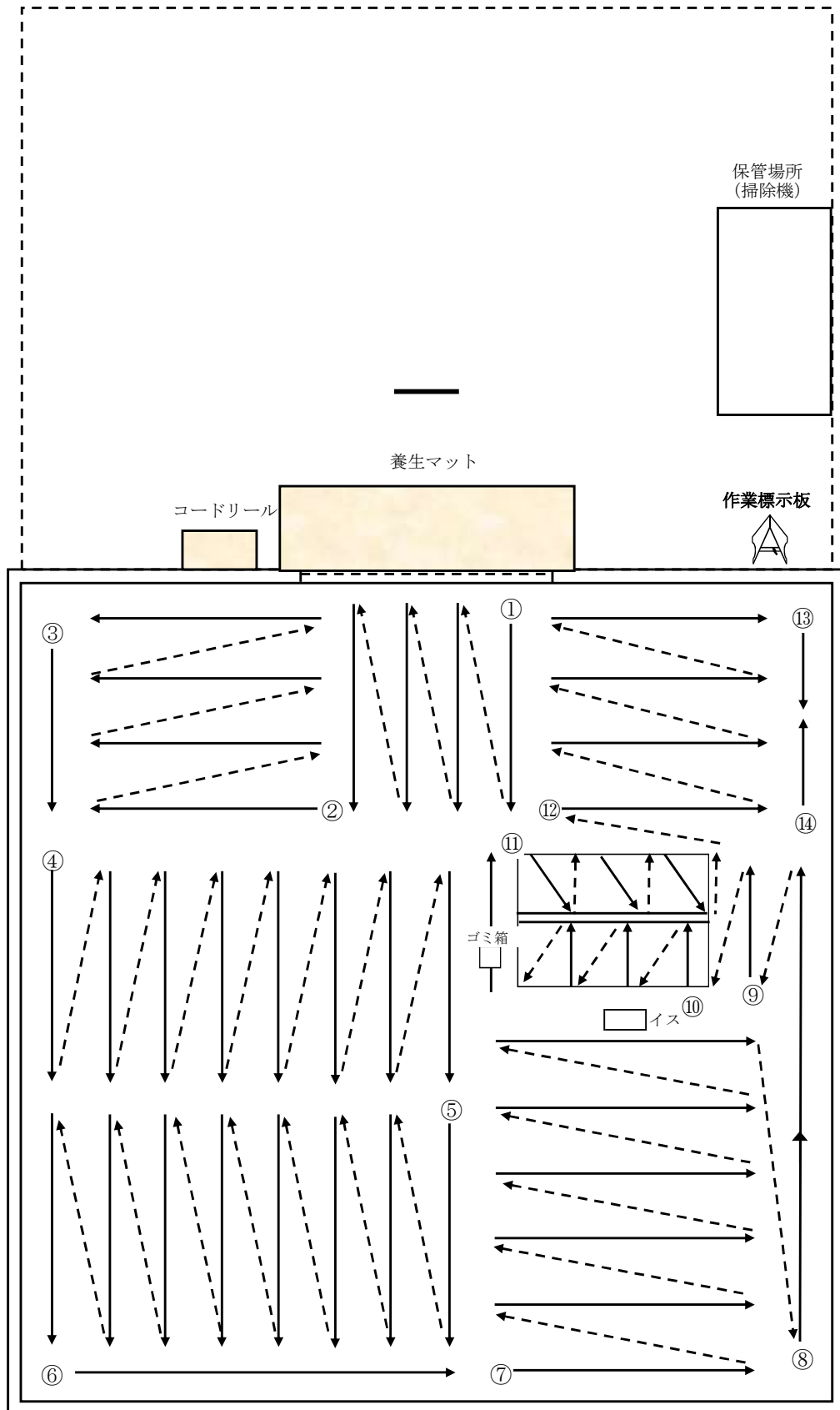
作業工程	作業方法	補足事項	備考
<p>水拭き作業 (モップ)</p>	<p>① コート全体面積を拭く。</p> <p>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ コーナー周り^{まわ}と机^{つくえ}の足元は房系^{ふさ}に手を添えて拭く。</p> <p>④ モップは適宜^{てきぎょうがえ}翼返し、モップ全体^{ぜんたい}を使って拭く。</p> <p>⑤ モップは横拭きとし、後退^{ごたい}しながら拭く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・ 柄^えの先端^{せんたん}には親指^{おやゆび}を添える。 ・ 房系^{ふさ}と幅木^{はばき}、机^{つくえ}の脚部^{きゃくぶ}に触れないようにする。 ・ 拭いたところを踏まないようにする。 	
<p>ごみ箱とイス下ろし</p>	<p>安全^{あんぜん}に音を立てないようにおろす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足^{あし}の上に落とさないように注意^{ちゅうい}する。 	
<p>机上拭き</p>	<p>① 青色^{あおいろ}のタオルを八折^{はちおり}にして持つ。</p> <p>② 机^{つくえ}の上^{うえ}を青色^{あおいろ}のタオルで水拭きした後に、白色^{はくしよく}のタオルでから拭き^{おこな}を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タオルが汚れたらきれいな面^{めん}を出して拭く。 ・ 机^{つくえ}の縁^{えん}を含めて、四隅^{よすみ}から中央^{ちゅうおう}へと拭く。 ・ 横拭き^{よこぬ}・縦拭き^{たてぬ}を行う。 	
<p>点検</p>	<p>指差し^{ゆびさし}し又は目視^{めく}点検^{てんけん}を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資機材^{しきざい}の忘れ、ゴミの取り残し^{のこ}などの点検^{てんけん}を行う。 	<p>点検^{てんけん}の際^{さい}に声^{こえ}を出さないこと。</p>
<p>退室^{たいしつ}の挨拶^{あいさつ}</p>	<p>出口^{でぐち}にて室内^{しつない}に向かって退室^{たいしつ}の挨拶^{あいさつ}を行う。</p>	<p>「失礼^{しつれい}しました」と一礼^{れい}して退室^{たいしつ}する。</p>	

<small>さぎょうこうてい</small> 作業工程	<small>さぎょうほうほう</small> 作業方法	<small>ほそくじこう</small> 補足事項	<small>びこう</small> 備考
<small>しきざい かたづ</small> 資機材の片付け	<small>さぎょうひょうじばん</small> 作業標示板をカートに収納 <small>しゅうのう</small> し、カートを保管場所に <small>もど</small> 戻す。		
<small>しゅうりょう あいさつ</small> 終了の挨拶	<small>しよてい いち た</small> 所定の位置に立ち、 <small>しゅうりょう</small> 終了の <small>あいさつ おこな</small> 挨拶を行う。	<small>お</small> 「終わりました」等の <small>とう</small> 意思表示を行う。	<small>さぎょうしゅうりょう</small> 作業終了を <small>しんかく</small> 申告する。

標準配置図(モデル)



カーペット床作業手順



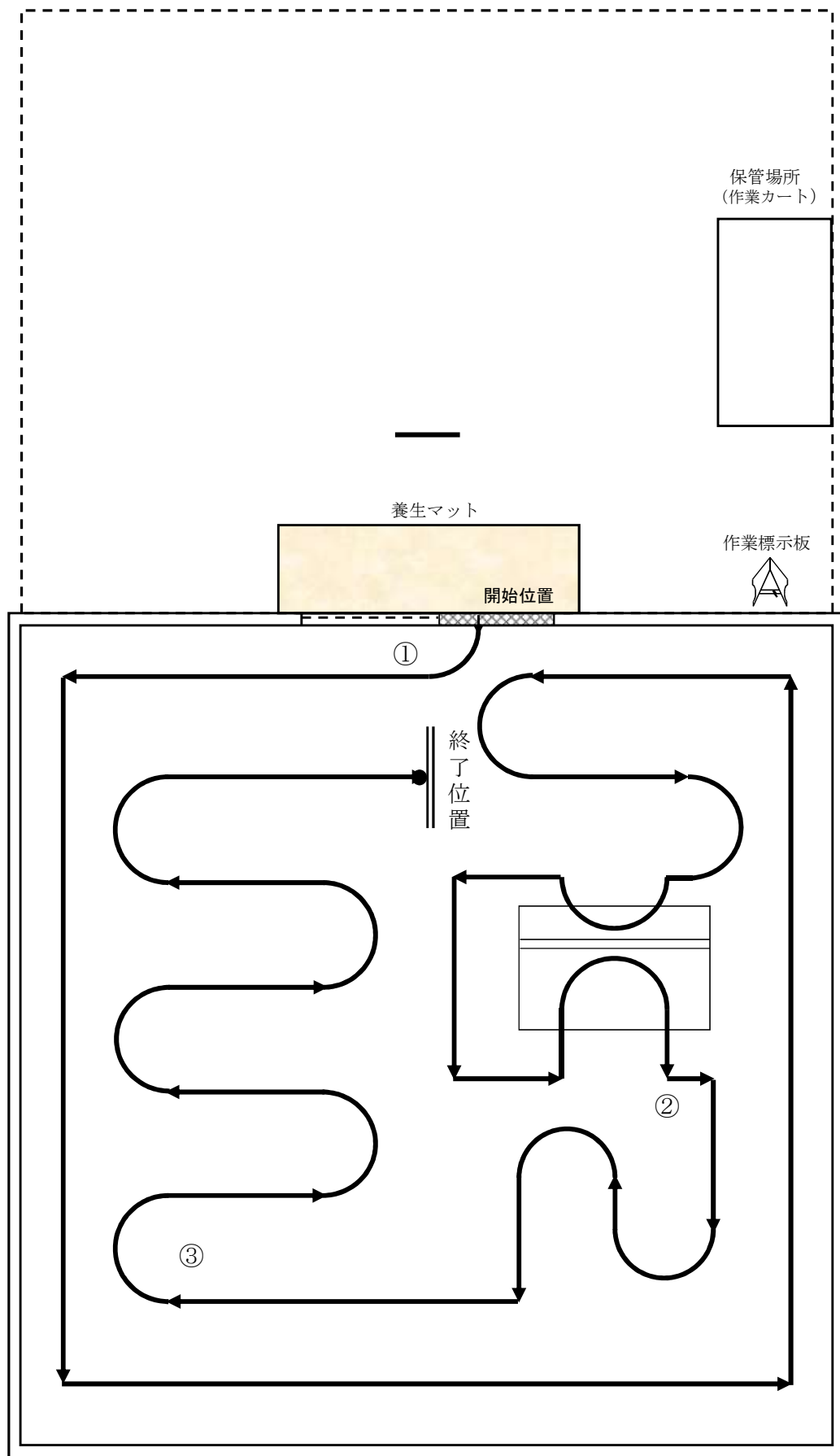
注：作業の進行①-⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

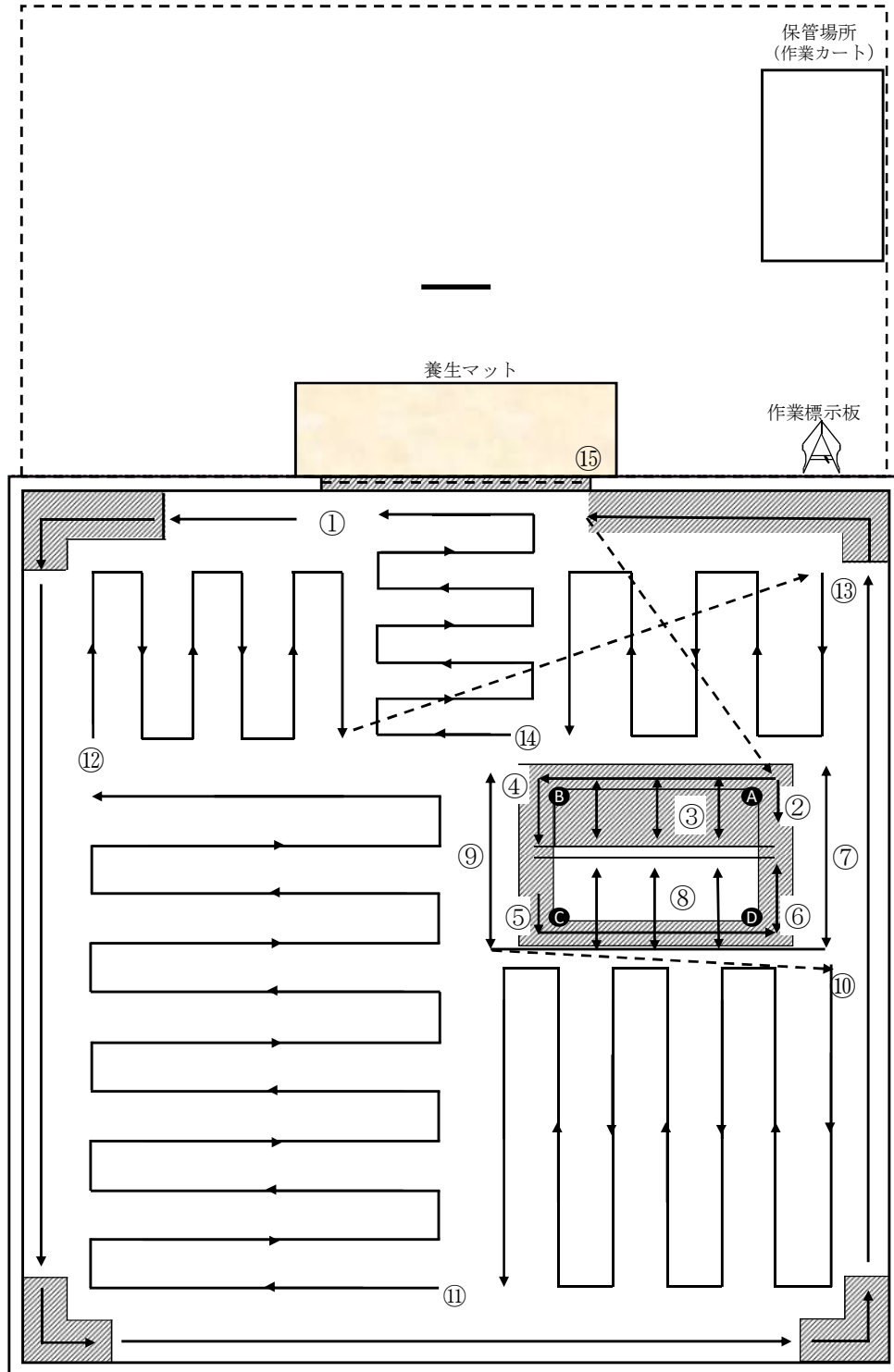
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

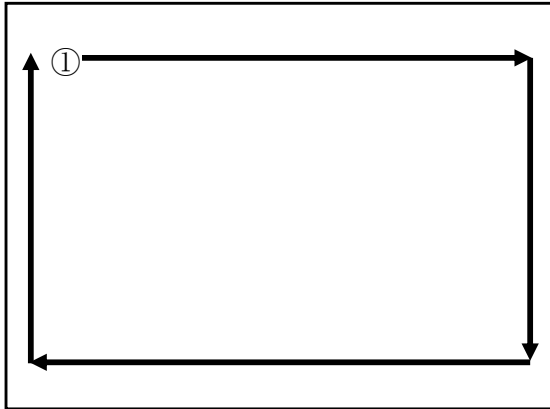
水拭きモップ作業手順



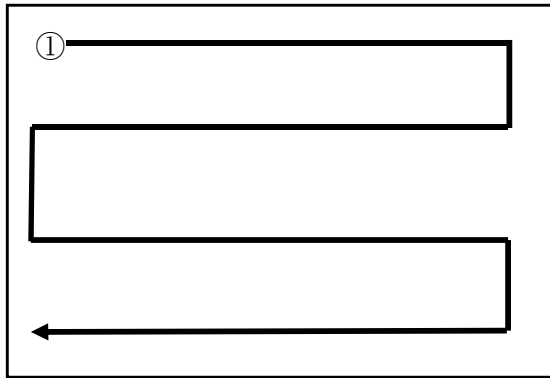
注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥ B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑧ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑨ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑩～⑭ スパンを決めて拭く
- ⑮ 入口を手を添えて拭く

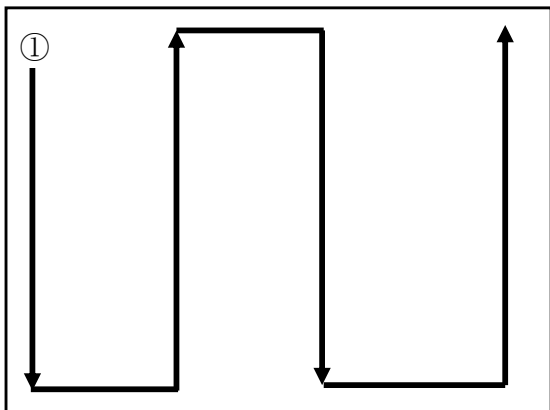
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。